

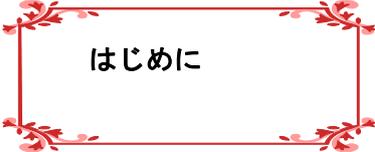
盛岡市立上田小学校区



上田小学校PTA

もくじ

◇はじめに	1
◇上田小学校区地図	2
◇地区別マップ	
上田一・二・北山子ども会	3
上田三丁目子ども会	4
上田四丁目子ども会	5
さくら子ども会	6
高松子ども会	7
高松二丁目北区子ども会	8
館向地区子ども会	9
上田地下道	10
◇その他	
防犯パトロール腕章	11
交通安全年間スローガン ～上田小学校の「過去の入賞作品」～	11
こんなところが危ない ～自分の身を守ろう～	12
◇おわりに	15



はじめに

○保護者の皆様へ

常日頃、「子どもたちの安全をよりよく守るためには」と考えるのは誰しも同じだと思います。そのひとつとして、平成18年度以来、6年ぶりに「安全マップ」を見直しました。

平成18年度の「安全マップ」作成に際しては、各地区が子どもの目線で作成できるようにと、工夫しながら子どもたちと一緒に自分たちの地区をまわり、大人では気づかなかった場所が見つかったり、安全への意識が高まったりしたと思います。

今回、どの地区も同じ目線でチェックすることができるようにと、各地区の地図を統一し、より見やすく、より分かりやすくを念頭に見直ししました。

注意すべきところが以前と変わらない所もありますし、新たに追加した所もあります。他の地区の注意すべき所を認識することによって、自分たちの学区に対する意識や注意が促されると思います。地下道マップと併せて、是非お子さんと一緒にご覧になり、安全に対して話し合ってみてください。

このマップが子どもたちの安全にその役割を果たし、次年度以降も改善を加えながら続いていくことを願っています。

なお、今回見直した「安全マップ」は、盛岡市教育委員会に依頼し、盛岡市教育委員会ホームページの本校の紹介にリンクして、カラーで掲載していただきますので、是非ご利用ください。

◆盛岡市教育委員会 本校のホームページアドレス◆

<https://www.city.morioka.iwate.jp/kyoiku/sch-e/ueda/index.html>

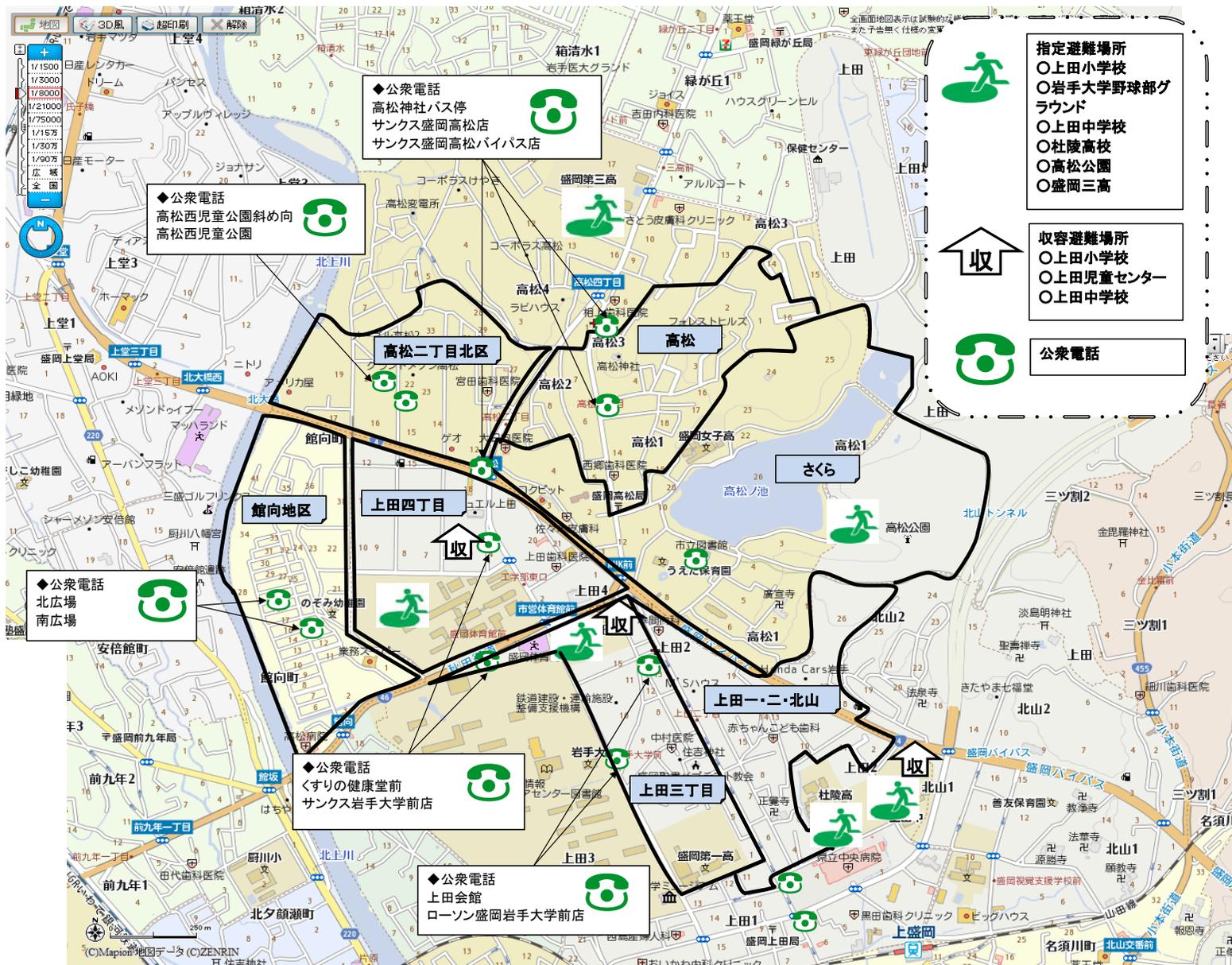
○児童のみなさんへ

ふだん、当たり前のように通っている道や遊んでいる場所にも、気づかなかった危ないところがあります。安全マップには自分の地区以外の地図もつけています。よく見て、おうちの方と話し合ってみてください。

お友達の家に行く道はどうですか？

気づかなかったところはありませんか？

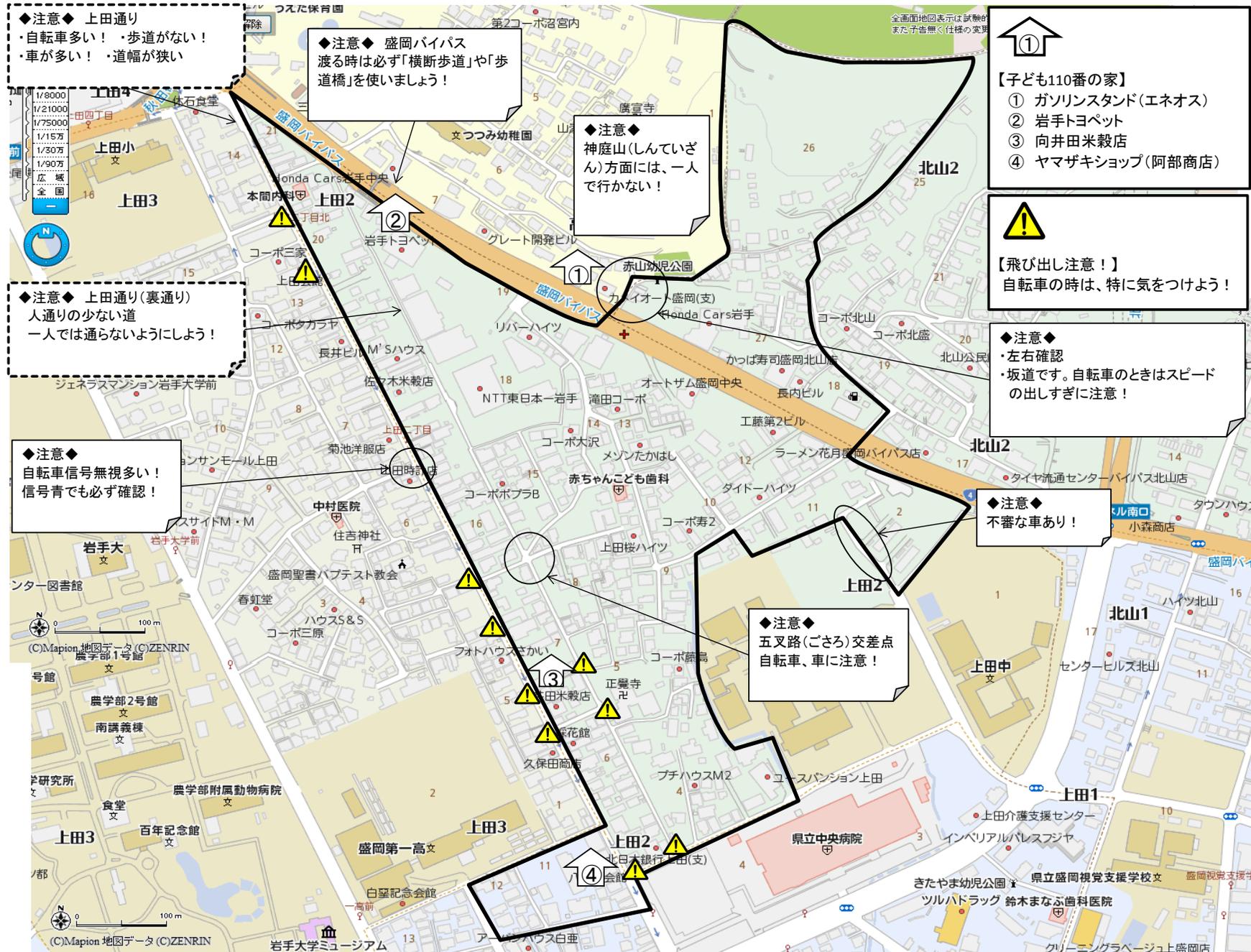
みなさんがこの安全マップを通して上田小学校区をよく知り、もっと良い地区にしていこう、注意する場所へしっかり注目するようにしよう、と考えてもらえるように作りました。



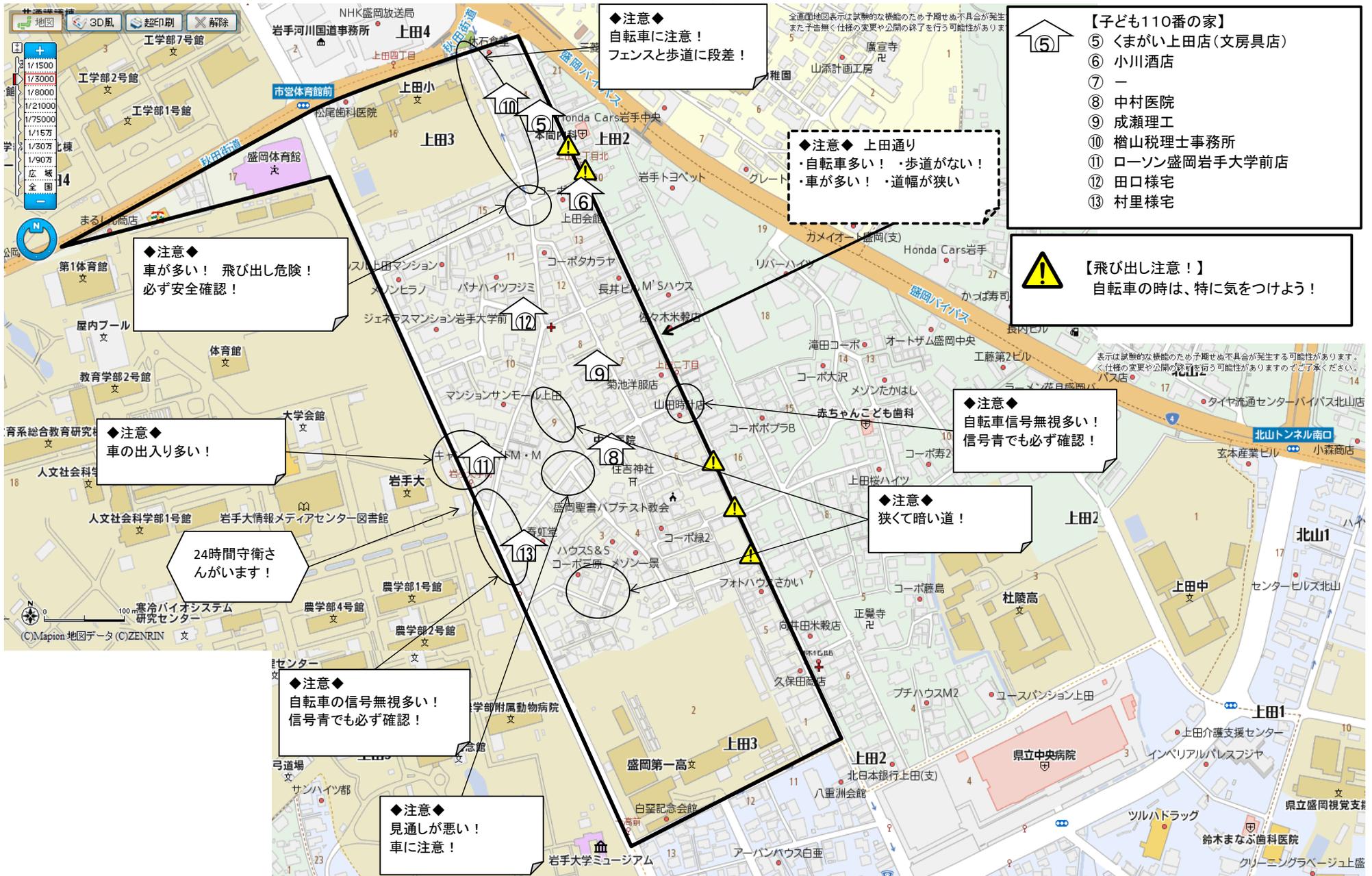
◆指定避難場所◆(上図は上田小学校区の指定避難場所です。)
 地震などの災害発生直後に一時的に避難する場所です。避難の必要を感じたり、市職員や消防団員などから要請があった場合には、すぐに近くの指定避難場所に避難してください。

◆収容避難場所◆
 指定避難場所に避難した後、必要に応じて学校の体育館や地区活動センターなどに収容避難場所を開設し、被害状況によっては食料や毛布などが提供されます。

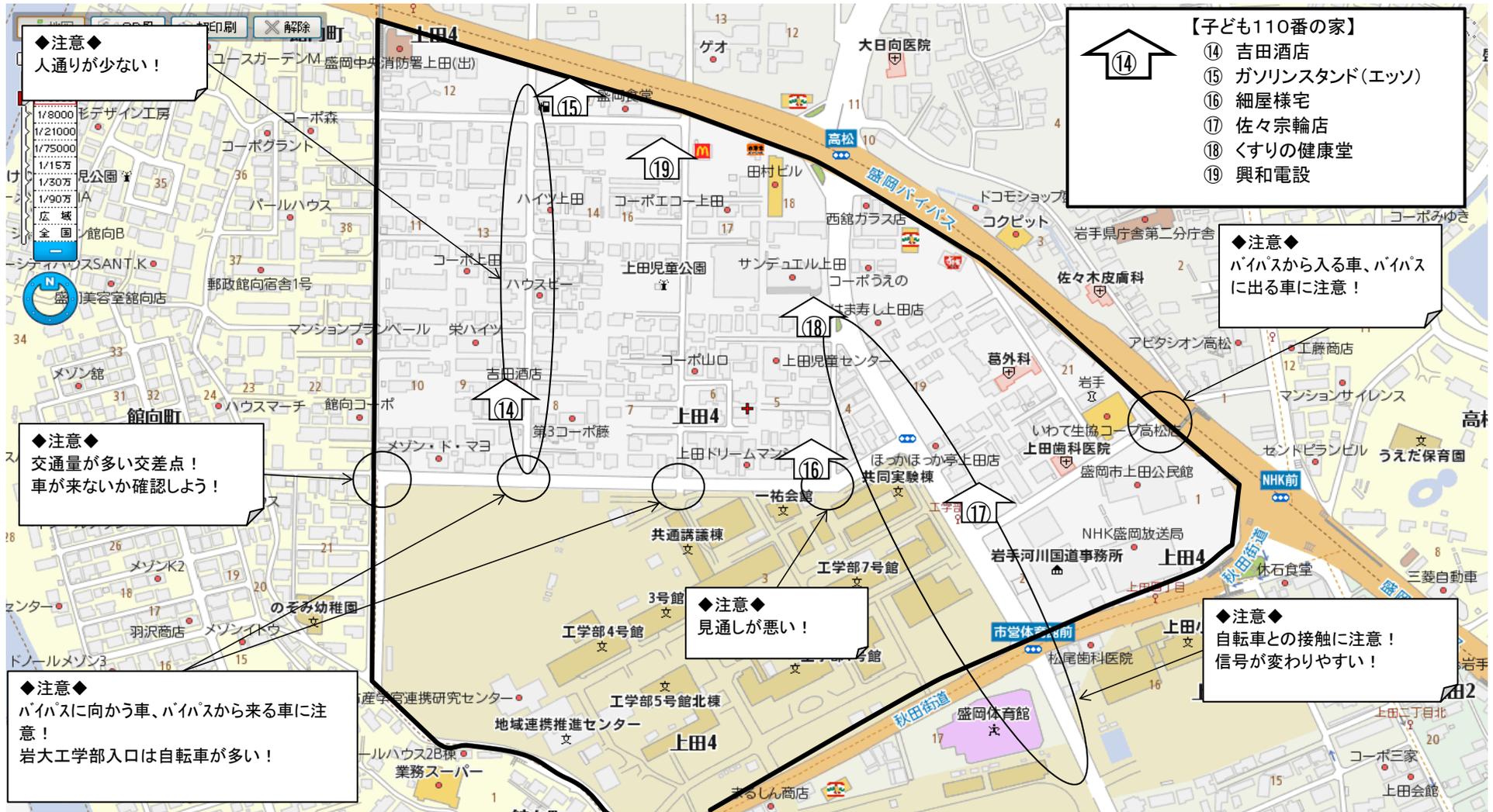
【 安全マップ : 上田一・二・北山子ども会 】

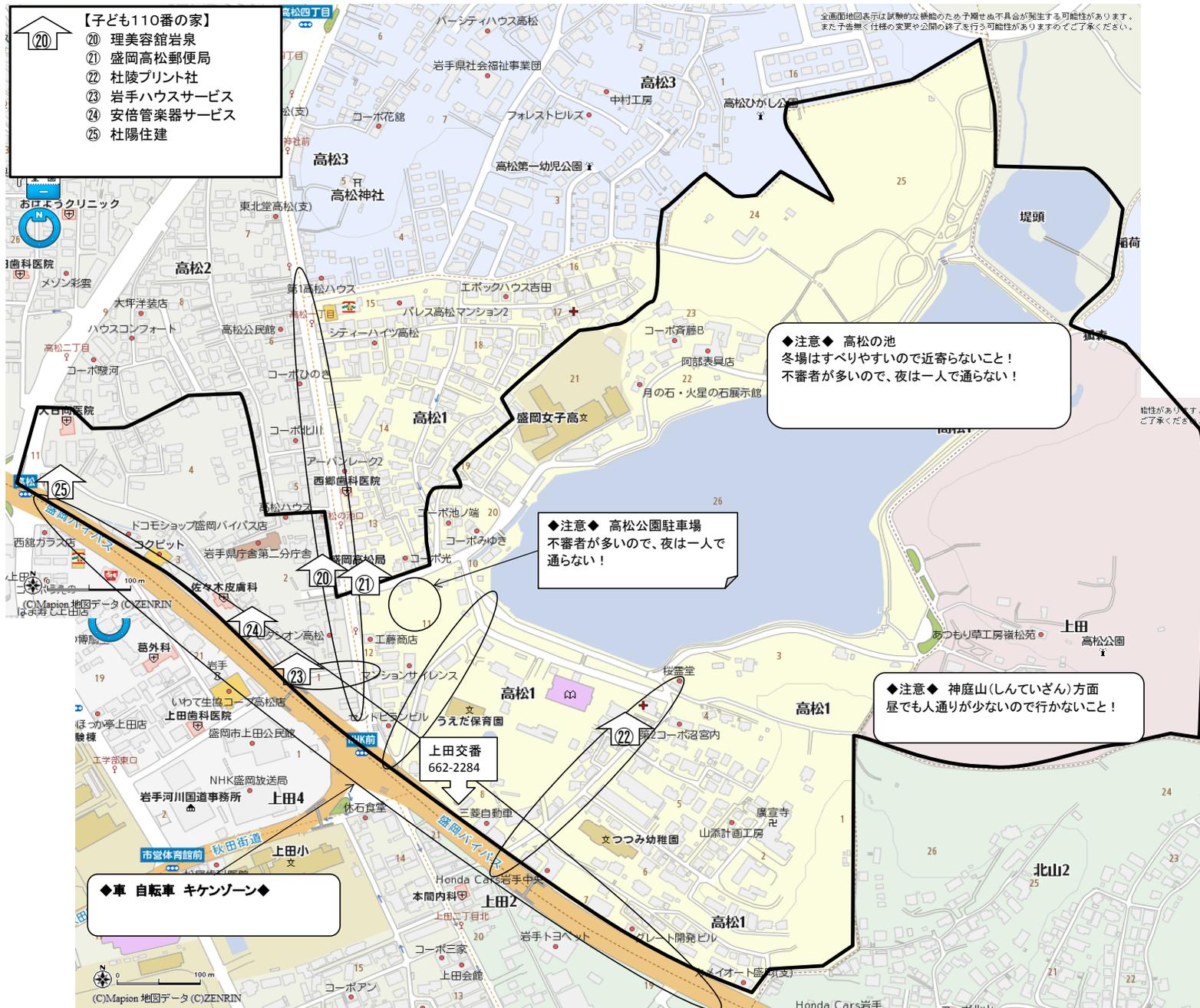


【安全マップ：上田三丁目子ども会】

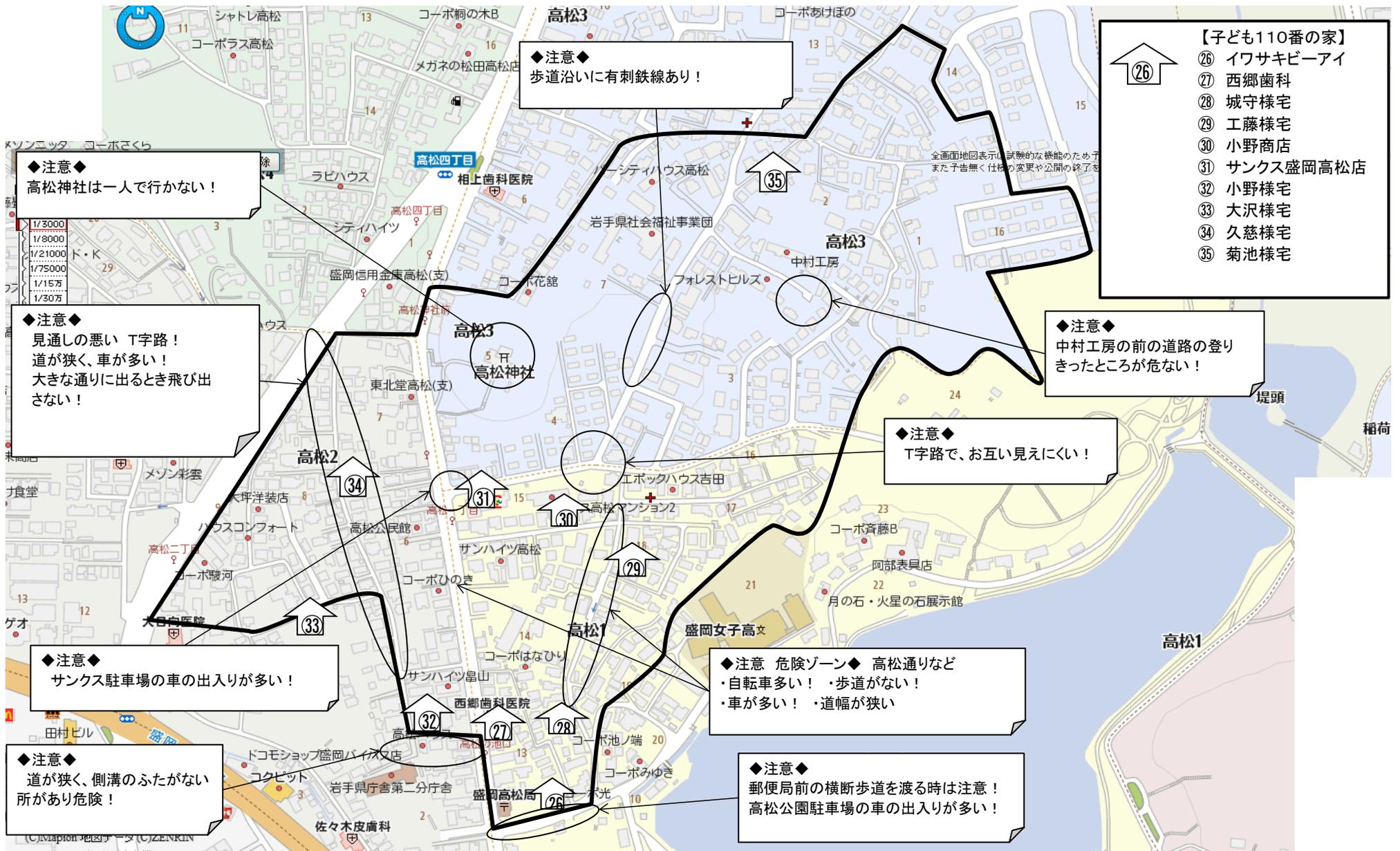


【安全マップ：上田四丁目子ども会】

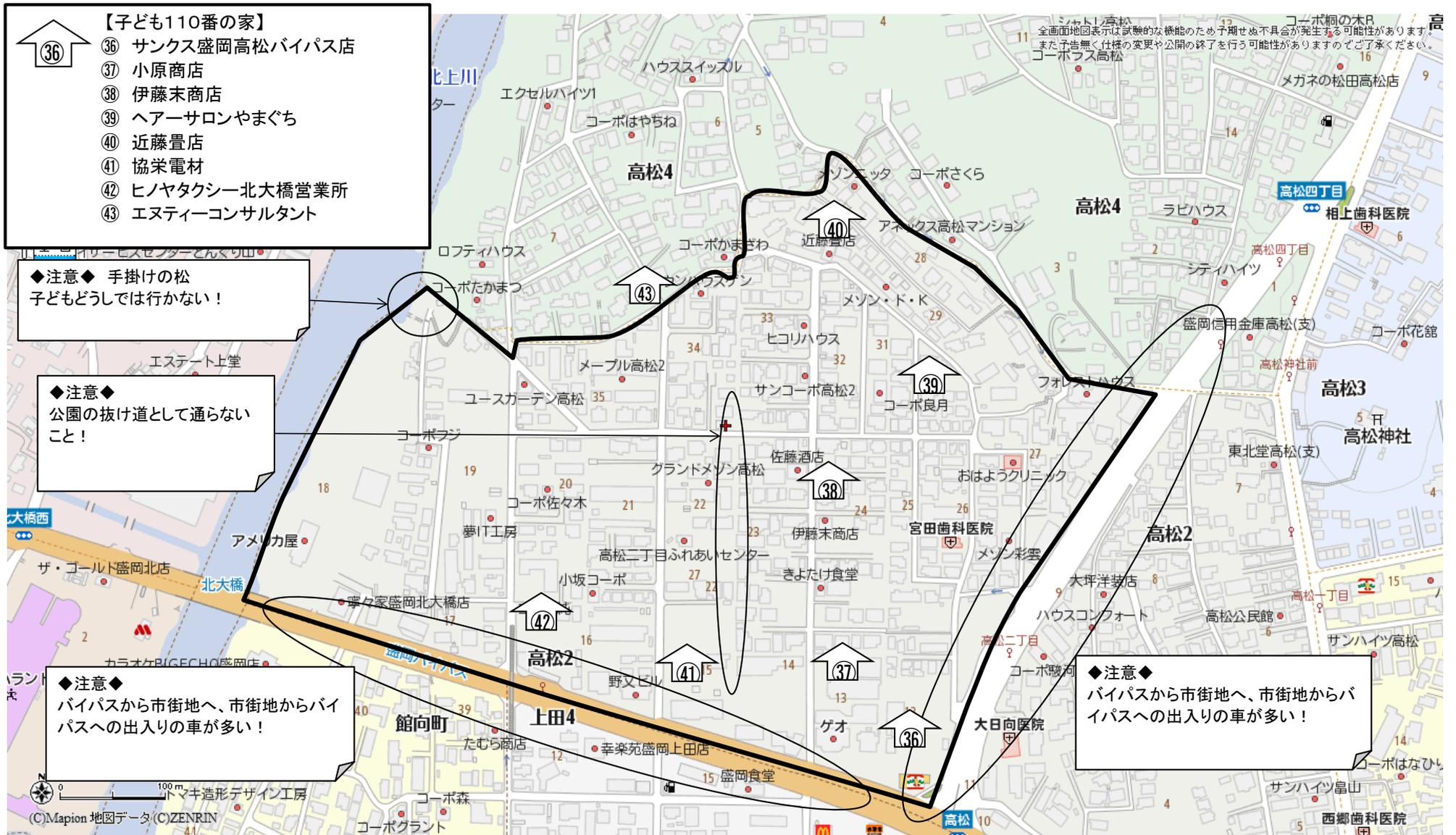




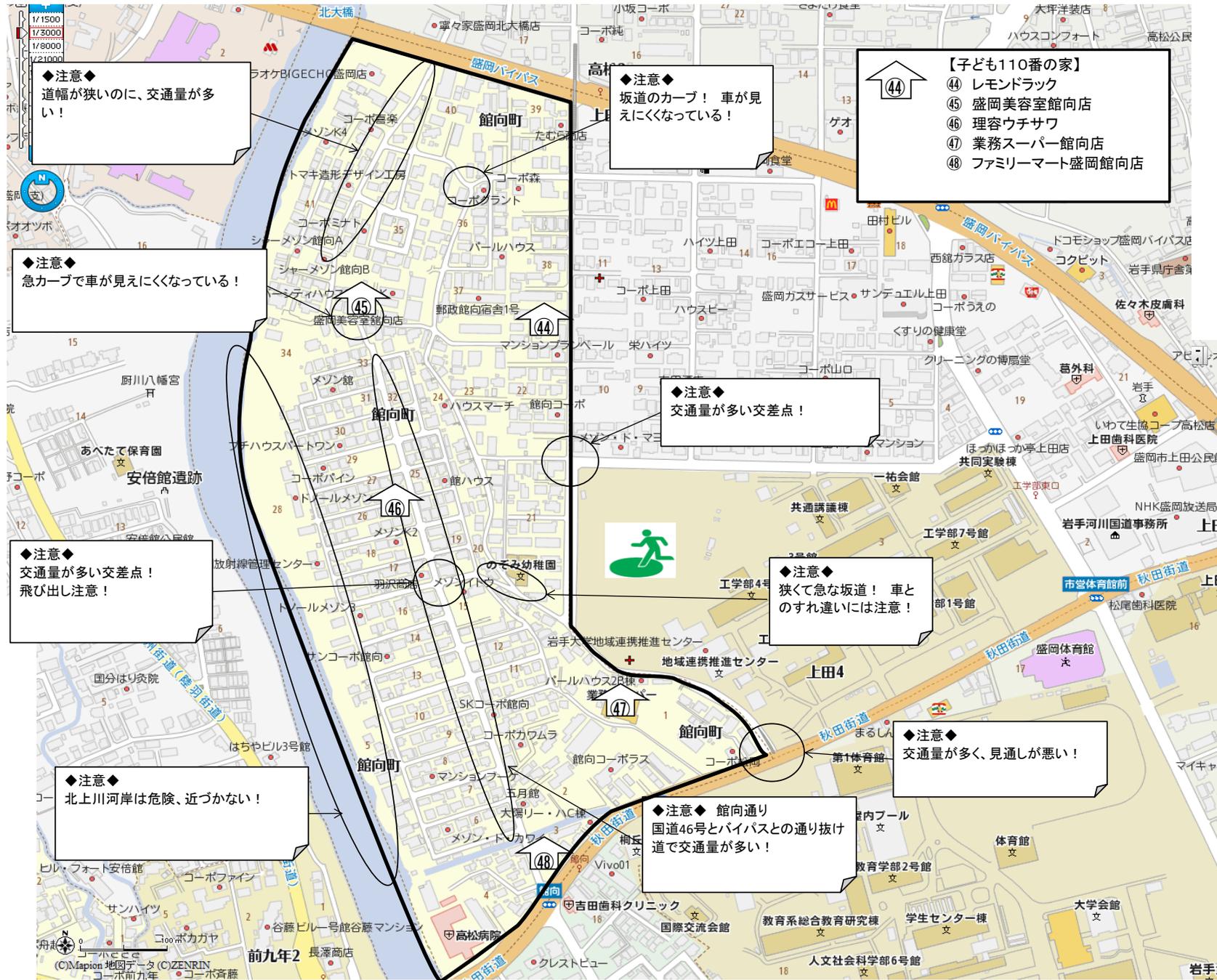
【安全マップ：高松子ども会】



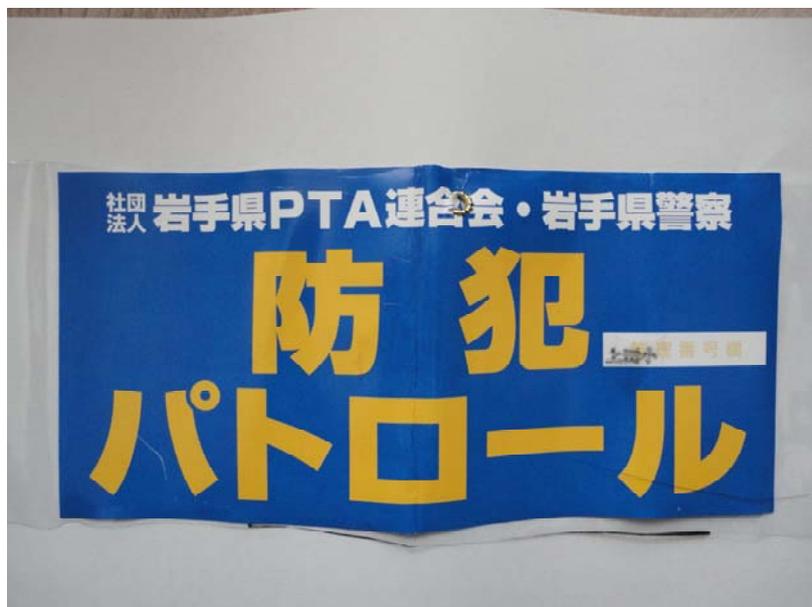
【 安全マップ : 高松二丁目北区子ども会 】



【安全マップ：館向地区子ども会】



☆ 防犯パトロール腕章 ☆



- ❖ 登下校時間帯や外出時には、お互い声をかけ合いながら腕章を活用し、不審者が入りにくい地域環境を築きましょう ❖

☆ 交通安全年間スローガン ☆
～上田小学校の「入賞作品」～

平成19年度内閣総理大臣賞（こども部門）受賞

上田小学校4年 前田かのん さん

◇ 青だけど 車はわたしを 見てるかな ◇

平成23年度内閣総理大臣賞（こども部門）受賞

上田小学校4年 佐々木久歌 さん

◇ 星キラリ 自転車ピカリ 帰り道 ◇

こんなところが危ない！！

～自分の身を守ろう～



交通安全編

- (1) 道路へ飛び出さない。
- (2) 車が多く通る道、細い道をスピードを出して通る車に気をつける。
- (3) 交差点では必ず左右の確認をする。
- (4) 信号は青でも左右の確認をしてから渡る。
- (5) 自転車がよく通るところでは、自転車とぶつからないように注意する。
- (6) 自転車に乗る時のルールは学校で教わったことを守る。

◆お家の方へ◆

お子さんの通学路、特に下校時はきちんと把握していますか？

普段お子さんが通る道と一緒に歩いてみたり、また普段の生活の中でも交通ルールを守ることを教えたりと、一人でも安全に行動ができるようにしましょう。

また、お子さんが遊びに行く場所や、お友達の家の周辺についても、安全マップをもとに注意が必要な箇所の確認をしましょう。

災害時編

- (1) 外で遊んでいるときに大きな地震などがあった場合、避難できる場所を覚えておく。
- (2) 災害時は電話がつながりにくくなるので、いつでも使えて、普通の電話よりつながりやすい公衆電話の場所も覚えておく。

◆お家の方へ◆

お子さんが一人で、または子ども同士でいる時に大地震などの災害が起きた場合、どこに行ったらいいのか、どのように行動したらいいのかなど、お子さんと話をしたことがありますか？

今回、安全マップに避難場所や24時間使用できる公衆電話の場所を載せました。

「何となく」覚えているだけでも、「もしも」の時にはきっと役に立つと思います。

また、大きな地震が起きた時に、倒れてきそうなブロック塀や看板、落ちてきそうな屋根瓦などから身を守る方法についてもお子さんと話をしておきましょう。

防犯編

(1) 「イカのおすし」をおぼえよう

- イカ ⇨ (知らない人にはついて) イカない
の ⇨ (知らない人の車には) のらない
お ⇨ 「助けて」とおおごえをだす
す ⇨ すぐ逃げる
し ⇨ どんなんことがあったか、家の人にしらせる



(2) 「事件や事故が起きやすい場所」とは

- ◆ 入りやすい場所＋見えにくい場所 = 犯罪がおこりやすい場所 ◆
入りやすい場所とは ⇨ どこからでも入れて、どこからでも逃げられる
見えにくい場所とは ⇨ 何が起きているのかわからない
⇨ チェックポイント！！
- ①木が茂って見通しの悪い公園やそのトイレ
 - ②神社・お寺、工事現場、空き家、「痴漢ちかんに注意」などの看板がある場所
 - ③落書きの多い場所やゴミの散らかっている場所
 - ④人のいない駐車場や駐輪場、路上駐車の多い場所
 - ⑤高い壁があって人通りの少ない道、街灯がない道、歩道のない道
 - ⑥公衆トイレやエレベーターなど一人になりやすい場所
 - ⑦一人での留守番の時の家の中

(3) こういう車には近づかない

- ・エンジンがかければなしの車
- ・中に人がいるのにエンジンを切って止まっている車
- ・ガラスがまっ黒で、中が見えない車
- ・運転手の中からじっとこっちを見ている時



もしそんな車に追いかけられたら、近くの家や大人に助けを求めよう。車は簡単にUターンできないので、車の進行方向と反対方向に逃げればよい場合もある。

(4) いざというときかけこめる場所は

- ①子ども110番の家や店、 防犯連絡所、友達の家
 - ②コンビニ、ファミリーレストラン、ガソリンスタンド
 - ③学校、病院、郵便局
- 安心できる場所のポイントは
- ⇨ 「公共の場所」「お店」「信用できる人がいる」
「明るい、人目が多い」「家族連れが多い」



◆お家の方へ◆

子どもを犯罪から守るポイント

①日常生活の中で誰でもできる「8・3運動」を行う。

午前8時、午後3時ころの子どもの登下校の時間帯に合わせて、見守り活動を行いましょう。私たち一人ひとりの目が、不審者を寄せ付けない、地域全体で子どもを守る力になります。

②見守り活動やあいさつ運動に参加する。

一人ひとりが、見守り活動に協力することにより、地域の領域性（地域をガードするなわばり感覚）が強化され、不審者を地域に入り込ませない力になります。

③家庭でも防犯教育を行う。

普段の生活の中で、子どもたちに防犯意識をもたせることは、とても重要です。「出かける時は、必ず行き先を教えること」「一人では行動しないこと」「帰る時間を守ること」などを必ず言うように習慣づけましょう。出かける時は必ず鍵をかけるなど、日常生活で身につけた防犯意識は、忘れることがありません。犯罪にあわないための防犯教育も家庭から始めましょう。

④子どもを守る合言葉「いかのおすし」を普及させる。

いざというときに忘れてしまわないように、繰り返し声に出して覚えましょう。

⑤「子ども110番の家」などを確認する。

⑥防犯ブザーやGPS装置を活用する。

防犯ブザーは、いざというときにすぐ使えるようにしておくことが重要です。防犯ブザーは、見せるように身につけることで犯罪者を寄せ付けない効果が期待できますが、GPS機能（携帯電話に付加されているものがある）は見せないことに意味があります。

⑦地域安全マップづくりで、危険な場所を教える。

⑧家庭・学校・警察・防犯ボランティアとの連携を図る。

⑨子ども自身にも、危険を回避する力、身を守る力をつけさせる。

- ・防犯ブザーを正しく使う。
- ・相手から逃げ切るための距離を知る。
- ・ランドセルを捨てて、20メートルダッシュ！
- ・大声で「助けてー！」と逃げながら叫ぶ。

小さい子は、ランドセルを背負ったままだと、逃げるできません。

子どもたちが地域の人たちと挨拶をかわすことで、地域の人たちの顔をおぼえることができるとともに、「安心できる人」「不審な人」の区別ができる目を養うことができます。知っている人に会ったら積極的に挨拶をするように声かけましょう。

犯罪はいつ、どんな時に起こるか分かりません。学校や家庭でのルールを守らせることが、犯罪の未然防止につながるはずです。家庭での防犯教育をしっかりとしていきたいものです。

おわりに

平成18年度に初めて作成された「安全マップ」を6年ぶりにリニューアルしました。保護者の皆様、子どもたちの生活に生かされるものであるように留意しました。

見直しにあたり世話人の方々、地域の方々、保護者の皆様のご協力、ご理解をいただきましたことに心から感謝いたします。

また、地区の安全に改めて目を向けてくれた子どもたちに拍手を送ります。

最後になりましたが、平成24年度盛岡市教育振興運動実践大会において、長年にわたり全校で交通安全標語づくりに取り組むとともに、交通安全に携わる地域の方々へ感謝の手紙を贈るなど地域と一体となった取り組みを続けてきたことが評価され、盛岡市教育委員会児童生徒表彰（努力の部）を受賞しました。





上田小 安全マップ

発行 平成25年 3月15日

編集 盛岡市立上田小学校PTA

(会長 日山 健一)